

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 第3次産業活動指数(2010年12月)

発表日2011年2月16日(水)

～10-12月期は▲0.2%と2四半期ぶりの前期比マイナス～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 小杉 晃子
TEL : 03-5221-4548

(単位: %)

		第3次産業活動指数												
		前期比	前年比	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・物品賃貸業	宿泊業・飲食サービス業	医療・福祉	生活関連サービス・娯楽業	学術研究・専門・技術サービス業	
09	4-6月	▲0.6	▲6.1	▲0.5	2.7	▲0.4	▲2.8	1.2	▲0.3	0.1	1.1	▲0.3	▲1.2	
	7-9月	0.6	▲4.7	▲0.9	▲2.7	0.6	1.7	▲0.5	▲0.1	0.1	0.7	0.0	6.5	
	10-12月	▲0.3	▲3.4	3.1	1.9	0.6	0.0	0.5	▲0.2	0.1	0.3	▲1.3	▲4.1	
10	1-3月	1.1	0.7	3.6	▲1.5	3.1	0.7	1.9	▲0.2	0.8	0.7	0.0	▲0.9	
	4-6月	▲0.1	1.3	▲0.5	3.2	▲1.1	▲0.8	0.0	0.3	▲0.5	2.1	▲1.2	▲3.0	
	7-9月	0.8	1.6	1.9	▲1.3	0.5	2.5	▲1.8	▲0.3	2.5	0.5	1.0	4.3	
	10-12月	▲0.2	1.6	▲3.5	1.4	▲1.6	1.0	0.9	▲0.8	0.1	0.5	▲1.7	▲1.7	
09	4月	2.0	▲6.2	▲0.2	6.0	▲0.2	3.1	0.8	0.0	0.0	0.8	0.9	▲1.1	
	5月	▲0.2	▲7.1	1.3	2.0	0.2	1.4	▲0.2	0.1	0.6	▲0.3	▲0.5	▲2.5	
	6月	0.2	▲5.1	▲0.9	▲2.4	0.0	0.0	0.5	▲0.1	▲1.7	0.5	0.0	3.3	
	7月	0.5	▲5.3	▲0.3	0.2	0.4	1.2	▲1.3	▲0.3	1.3	0.2	0.0	0.0	
	8月	0.2	▲4.1	▲0.9	▲0.7	0.0	0.1	1.2	0.2	▲1.4	0.6	0.3	7.4	
	9月	▲0.3	▲4.7	0.6	▲4.5	0.4	▲0.2	▲0.9	0.1	2.0	0.1	0.0	0.8	
	10月	0.2	▲4.4	1.9	5.5	0.4	0.7	0.3	▲0.2	0.0	▲0.1	▲1.5	▲5.0	
	11月	▲0.2	▲3.0	1.4	▲0.1	0.0	▲0.4	0.0	▲0.1	▲2.0	0.3	▲0.1	▲1.0	
	12月	▲0.7	▲2.7	0.4	▲0.1	▲0.2	▲0.9	1.2	▲0.2	1.7	▲0.4	0.4	▲3.9	
	10	1月	2.9	▲0.1	2.4	2.1	3.5	5.1	1.9	0.2	0.0	2.1	0.1	3.8
		2月	▲0.5	0.6	1.1	▲0.7	▲0.9	▲3.1	▲2.6	▲0.6	0.1	▲1.9	▲1.0	▲0.6
		3月	▲2.6	1.8	▲0.8	▲8.8	0.8	▲4.3	3.0	0.5	0.7	0.4	0.9	▲3.3
4月		2.4	1.8	1.2	10.2	▲1.0	3.6	0.4	0.4	0.1	1.5	▲1.1	▲1.2	
5月		▲0.9	1.1	▲2.4	1.7	▲0.3	▲0.9	▲1.0	▲0.7	▲1.6	1.2	▲1.1	0.3	
6月		0.2	1.0	0.5	▲3.6	▲0.4	1.2	▲2.6	0.7	▲0.2	0.6	1.2	1.1	
7月		1.4	1.5	1.5	2.0	1.7	2.3	▲0.1	▲0.3	3.7	▲0.4	▲0.4	4.6	
8月		▲0.1	2.3	2.4	▲0.3	▲1.0	0.1	0.4	▲0.1	▲0.2	0.7	3.2	▲0.3	
9月		▲0.9	1.3	▲1.8	▲3.7	▲0.4	▲1.6	0.3	▲0.4	▲1.2	▲0.8	▲3.5	▲2.9	
10月		0.3	0.6	▲3.4	4.3	▲0.8	1.0	0.5	▲0.4	1.6	0.5	0.8	0.4	
11月		0.5	2.4	0.4	▲0.4	0.2	3.3	▲0.4	▲0.3	▲2.5	0.1	▲2.3	1.1	
12月		▲0.8	1.8	0.1	0.3	▲0.9	▲3.2	1.0	0.4	3.1	0.5	1.3	▲2.0	

(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

○第3次産業活動指数：前月比▲0.8%

12月の第3次産業活動指数は前月比▲0.8%と、コンセンサス(同▲0.6%、レンジ:同▲1.4%~▲0.1%)を若干下回る結果となった。

主要13業種のうちプラスに寄与した業種は宿泊業、飲食サービス業(前月比寄与度+0.16%ポイント)、その他サービス業(同+0.14%ポイント)、金融業、保険業(同+0.10%ポイント)、生活関連サービス業、娯楽業(同+0.06%ポイント)、不動産業、物品賃貸業(同+0.04%ポイント)などの9業種、マイナスに寄与した業種は卸売業、小売業(同▲0.80%ポイント)、学術研究、専門・技術サービス業(同▲0.11%ポイント)、運輸業、郵便業(同▲0.08%ポイント)、複合サービス事業(同▲0.00%ポイント)の4業種であった。

12月は、企業部門の活動が悪化したことに加え、駆け込み需要の反動減の影響により卸売業、小売業の活動が低下したことなどを受け、全体では3ヶ月ぶりにマイナスに転じた。四半期ベースでも、10-12月期は前期比▲0.2%と7-9月期の前期比+0.8%から一転してマイナスとなっており、景気が踊り場局面にあったことが改めて確認された。

○家計部門、企業部門ともに悪化

第3次産業活動指数のうち、それぞれ家計と企業の活動に関連が深い業種を取り出してみると、家計部門が

¹ 映像・音声・文字情報制作、旅客運送業、小売業、不動産取引業、住宅賃貸業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、学習

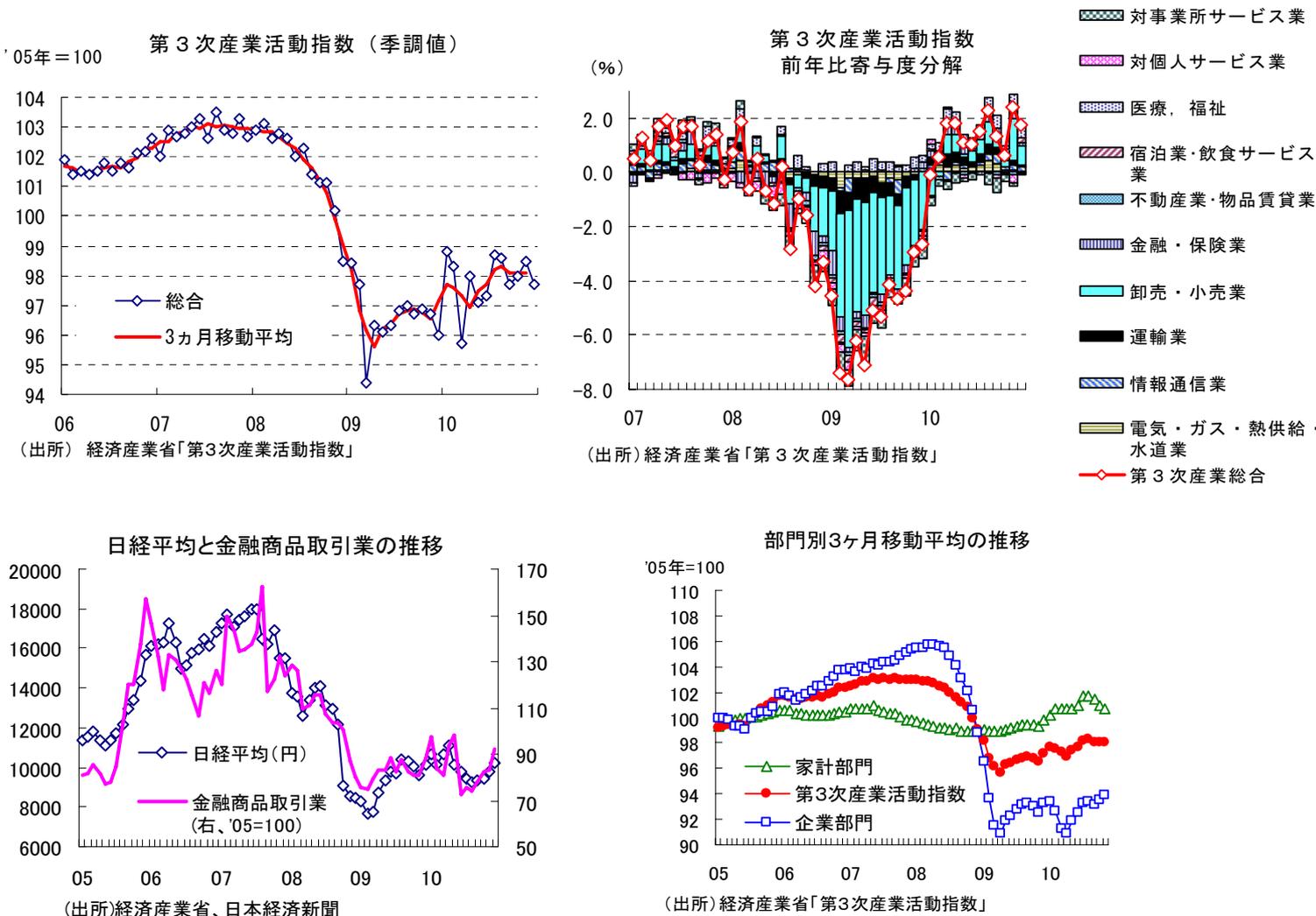
前月比▲0.8%、企業部門²が同▲1.5%であった。家計部門は、雇用・所得環境が緩やかに持ち直してきたことや住宅販売環境の持ち直しなどにより宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、不動産取引業などはプラスに寄与したものの、エコポイント半減に伴い薄型テレビの販売が大幅に減少したことによって、機械器具小売業が前月比▲40.3%と急減したことが全体を大きく押し下げた。その結果、全体では2ヶ月ぶりのマイナスとなった。また、企業部門も、卸売業、学術研究、専門・技術サービス業などの活動が低下したため、全体では3ヶ月ぶりに前月比マイナスに転じた。

一方で、12月は2ヶ月ぶりに金融業、保険業が改善した。株価の持ち直しに伴う売買代金の増加を受けて、金融商品取引業の活動が改善したことなどがプラスに寄与した。

○先行き景気は緩やかに回復に向かうと予想されるものの、弱い動きが続く見込み

このように、駆け込み需要の反動から個人消費が落ち込んだことなどを背景に足もとの第3次産業活動指数は弱い動きとなっている。

足もとでは海外景気の回復感が強まっており、日本からの輸出や生産も再び持ち直しの動きが出始めている。こうした動きに伴って、景気は今後、緩やかに回復に向かうと予想されるが、①企業の設備投資に対する慎重姿勢は依然として強いこと、②駆け込み需要の反動減の影響から個人消費は今後も低調な推移が続くと見込まれること、などを考慮すると、第3次産業活動指数は先行きも弱い動きが続きそうだ。



支援業、生活関連サービス・娯楽業

² 情報サービス業、貨物運送業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、卸売業、貸事務所業、物品賃貸業、自動車賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業